

#### 4. 議題

今回の番組審議委員会は、3月13日（水）午後1時～「心も体も温まる ソクラテスヲの本日の心のスープ」（毎月第2、第4水曜日放送 服部和子ナビゲーター）放送分と、3月7日（木）特別番組 斐太高校放送部制作番組「斐高 RADIO」（約10分）を聴取して審議に入った。

**☆コーナー番組：心も体も温まる ソクラテスヲの本日の心のスープ**

番組内容：一般的に暗くて大変なイメージのある精神医療の世界の話、明るく朗らかにお届けづらい思いをしている方が聴いて、少し気持ちが楽になったり、1歩踏み出すきっかけになったり、そのような願いを込めた番組。

案内人：

**☆特別番組：斐太高校放送部 制作番組「斐高 RADIO」**

番組内容：斐太高校にある部活動を紹介する番組。今回は軽音楽部とインターアクト部を紹介。

#### 5. 審議内容

会 社 側：	審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対する回答、報告今後の放送予定、聴取した番組の説明をした。
A 委員長：	みな様からいろいろなご意見を頂戴したいが、今、聴取した番組に関して、また、普段聴いている番組で感じたことなどをお願いしたい。
B 委員：	「ソクラテスヲの本日の心のスープ」について、服部ナビゲーターと軽快に進めていたが、話しの内容が哲学っぽく、なかなか難しい内容だった。また、話しが二転三転してわかりづらい部分もあった。 「斐高RADIO」は、斐太高校の放送部の皆さんが、頑張ってしゃべっていたことがよかった。あまり聞き馴染みのないインターアクト部の紹介のところも、しっかりと説明していたのでよかったと思う。しかし、軽音楽部の紹介の後、軽音楽部による演奏が流れたが、学校側の素材なので仕方が無いが、録音状態が悪く聴きづらかったので、録音状態が良いと軽音楽部の良さがさらに伝わったと思う。 「map 05」（地元を去る高校生に対し、「ふるさと」の温かさ・人の優しさを実感してもらい「ふるさと」についてもう一度考える時間を作るイベント。「05」は2005年生まれ世代のこと）についての話をした人が「この番組がいつ放送されるのかわからない」と話していたが、番組構成する中でしっかりと情報収集して、決まった放送日を伝えた方が会話が成立してよいのではないかと思う。

C 委員 :	<p>「ソクラテスヲの本日の心のスープ」については、高原委員の指摘同様哲学的な話しが多く特定な人をターゲットにした「講演会」として聴くならば面白くて良いと思う。しかし、不特定多数のラジオで伝える場合は、哲学的な話しよりも、例えば、●●さんは色々な活動をしているので●●さんがこれまで経験した事例や、リスナーからの相談に答えるなどの構成にした方が、聴く人がより身近になるような気がする。また鬱で悩んでいる人が、少しでも改善できるような内容だとよいと思う。</p> <p>「斐高RADIO」は聴取する前に、2つほど聞いてみたいことをメモしていた。1つは、生徒がしっかりインタビューしているのか？もう1つは今後の活動について質問しているのか？を聞きたかったが、2つともしっかりやっていたので良い構成だと思った。聞きたいのだが、このような番組は他の高校もやっているのか？斐太高校だけなのか？</p>
会 社 側 :	<p>斐太高校だけだ。他の地元高校には放送部が無い。斐太高校についても去年の早い時期から放送部で制作した番組をヒッツFMで放送しないかと提案していた。しかしこの時期、放送部はコンテストで放送素材を出品していたりして、なかなか実現できなかった。その後、今年1月ごろに少し時間ができたということだったので、このタイミングで放送することができた。</p>
C 委員 :	<p>他の高校の番組もあるのかと思い聞いてみた。承知した。今回の斐太高校の番組内容は軽音楽部とインターアクト部のみの紹介だったが、これからはいろいろな部活があるので、積極的に紹介して欲しいと思う。</p>
A委員長 :	<p>今回の斐太高校は1回のみ放送なのか？いくつかシリーズがあるのか？</p>
会 社 側 :	<p>年度が変わり、担当していた生徒が卒業しているかもしれないので、何とも言えないが、この番組に関わった生徒が在籍していれば、継続して番組をやって欲しいと思う。しかし、学校側や放送部の都合があり、今のところは単発の放送となる。因みに3月7日に本放送をして、その後何回か再放送をした。</p>
A委員長 :	<p>放送素材は学校側が制作して持ち込みをしたのか？</p>
会 社 側 :	<p>そうだ。今回、ヒッツFM側から何か放送について要望等は出していない。放送部で構成して、10分ぐらいの尺にまとめたものを素材として送ってきた。</p>

A委員長：	単発で終わることなく、継続して放送できるとよいと思う。ところで、「ソクラテスヲ」について、スピノザの話から内容がわからなくなってしまったのだが、1話完結ではないので、ずっと聴いていないとわからないと思う。本当に内容が難しく内容がよくわからなかったが、ずっと聴いていたら少し理解した。1回調べてみたい気分になった。ところで番組内で「●●さん」と名乗っていたか？
会 社 側：	番組内では「●●」と一切名乗っていない。あえて「ソクラテスヲ」と言っているので、聴いている人は誰がしゃべっているのかわからないと思う。
A委員長：	他に意見は無いか？そういえば、毎週金曜日の午前中に放送しているアニメ声の人がパーソナリティの番組は買っているのか？
会 社 側：	買っていない。知り合いの制作会社から、毎週、無料でデータを送ってもらっている。パーソナリティは「くわきえみり」だ。
A委員長：	1人でやっている「ラジオドラマ」はおもしろいと思う。ずっと聴いているわけでは無いが、個人的に好きだ。ただ、どのような人かはよくわからない。アニメ声優なのか？また高山出身なのか？
会 社 側：	そうだアニメ声優だ。東京を中心に活動している。出身は鹿児島県だ。先ほど話した知り合いの制作会社から「この声優を使ってラジオ放送をしたい」と依頼があり、現在、毎週金曜日の午前11時から放送している。
A委員長：	ヒッツFMだけで放送しているのか？
会 社 側：	今のところヒッツFMのみの放送だ。また、リスナーからもしゃべりが上手いと報告を受けている。
A委員長：	確かにしゃべりも上手いと思うし、とても興味をもてた。収録ではあるが毎週放送していれば、いずれヒッツFMで生放送やコラボレーションなどできればよいと思う。他に意見はないか？また会社側から他に報告はないか？
会 社 側：	春の番組編成について、担当ナビゲーターの入れ替わりがあると報告したが、当初のこちらで考えていた編成と違い、苦肉の策でこの春はこの体制でいきたいと思う。

C 委員：	新しいナビゲーターはどのような人なのか？
会社側：	<p>新人ナビゲーターは2名いるが、1人は□□という地元で演劇をやっている63才くらいの男性。</p> <p>もう1人は、△△という20才くらいの女性。</p> <p>以前、大政（だいまさ）※地元のにぎわい交流館に勤めており、大政は普段ヒッツFMが流れているみたいで、△△自身、館内で流れている放送を聴いていたら興味が湧いた為、今回、ヒッツFMのナビゲーターに応募してデビューすることになった。</p> <p>また先週、ナビゲーターの応募があり、まだ面接等はしていないが、関市出身の55才くらいの男性で、今後、面接等をしていきたいと思う。</p> <p>現状としてナビゲーターの数はいるが、1人1枠や2枠くらいのナビゲーターが数名いて、この2人についても1人1枠の番組担当なのでやりくりが大変だ。</p> <p>他は、高山市の新番組について田中明市長から「若者や女性が活躍をする」という公約があったが、担当部署から以前相談があり、話しを進めていた。今回、若者や女性が活躍することをテーマにした番組が実現できた。出演者は、しゃべりが上手い人や知名度がある人、毎回同じ人ではなく、これから活躍しそうな人とか、芽は出ていないが頑張っている人たちを取り上げていきたいと思う。人選については、新聞に頻繁に取り上げられている人や露出の多い人は避けて、あまり知られていない若者や女性に出演してもらいたい考えだ。</p> <p>他には支所地域を紹介する番組も放送する。以前も支所地域を紹介する番組はあったが、支所地域のよいところなど、改めて魅力を紹介していきたい。</p>
C 委員：	若者や女性が活躍をする番組の構成で、何かにチャレンジしている人の過程を番組で取り上げるのか、または、チャレンジを達成したことを取り上げるのかどちらなのか？
会社側：	<p>構成については、現在、市役所と調整中だが、活躍番組なので今、頑張っている人とか、このようなことを目指している人についてだと思う。</p> <p>1人しゃべりではなく、ナビゲーターとのやり取りになるが、1回目は高山市役所の担当者と番組趣旨についての内容になるかと思う。</p>
C 委員：	私の知り合いで建設関係の資格と取った女性がいるが、取り上げることは可能か？
会社側：	市役所に投げかけてみる。

A委員長：	これは行政の番組だから、内容が硬くなるのか？
会 社 側：	そうゆう場面があるかもしれないが、なるべく柔らかい内容にしたいと考える。
A委員長：	他に意見がなければ閉会する。
会 社 側：	本日も貴重な意見を頂戴して感謝している。会社を持ち帰り改善できるところは改善し、番組向上に繋げて行きたい考えだ。

6. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日（答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。）

令和6年3月18日（月）番組審議委員会の席上で説明

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法（自社ホームページ <http://www.hidanet.ne.jp/~hitsfm>）

公表の内容 第94回番組審議委員会開催の議事録

公表年月日 令和6年4月11日

8. その他の参考事項

次回開催時期：令和6年5月下旬

次回開催場所：飛驒地域地場産業振興センター